

平成 22 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 2,772,515 円

1. 外国人の受入れ拡大事業 2,134,461 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域との交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を図った。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

①黒龍江省との友好交流促進事業

○国際理解講座海外版「中国東北地方体験ツアー」

昨年度に続き、国際理解講座の一環として、一般県民から参加者を募り、中国黒龍江省ハルビン、大連、旅順への体験ツアーを実施した。

・期 間：9月15日（水）～9月19日（日）

・見学内容：聖ソフィヤ教堂、大連満鉄旧跡博物館、203高地、旅順の旧関東軍司令部、響水寺、大連経済事務所等

・参加人数：23名

（アドバイザーとして、長岡大学 教授 児嶋 俊男 氏が随行）

○黒龍江大学への日本語教師派遣支援事業（県委託事業）



旅順の旧関東軍司令部見学

②モンゴルとの技術交流事業

地球温暖化の進展等により乾燥化が進み、モンゴル国では砂漠化の拡大が懸念されているため、東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺において、新潟県の有する技術をもって砂漠地緑化に寄与することを目的に、NPO 団体等を構成員とする実行委員会を構成し、モンゴル現地への専門家派遣及び技術者の受入・研修等を実施した。

・実行委員会構成団体：NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課・林政課・森林研究所）、（財）環日本海経済研究所、（財）新潟県国際交流協会

・新潟県側の専門家派遣（6月26日（土）～7月4日（日））

・ドルノゴビ県からの研修生招聘（9月26日（日）～10月3日（日））

③北東アジア諸国との友好交流拡大

ア 「新潟県モンゴル訪問団」への参加

モンゴルチャーター便の就航に合わせて、新潟県とモンゴル国の更なる交流を探るための官民合同訪問団に参加した。

・期日：8月14日（土）～18日（水）

イ 「ウラジオストク線運航再開に係る交流促進訪問団」への参加

ウラジオストク線の運航再開に合わせて、新潟県とロシア極東地域の沿岸地方との交流促進を図るための訪問団に参加した。

・期日：1月11日（火）～13日（木）

（2）留学生就職支援フォーラム

留学生の就職問題を通して、地域社会と留学生との関わりについて考え、双方にとって望ましい関係のあり方や方策について探るためのセミナーを開催した。



- ・期日及び会場：10月2日（土）
万代シルバーホテル「万代の間」
 - ・主催：（財）新潟県国際交流協会、
新潟地域留学生等交流推進会議、
にいがたインターンシップ推進協議会
 - ・共催：新潟県、日本貿易振興機構新潟貿易情報センター、（特活）産学連携教育日本フォーラム
 - ・協力：（公財）環日本海経済研究所、（社）新潟県商工会議所連合会、（社）新潟県経営者協会、新潟経済同友会
 - ・参加者：県内企業（16社）、大学等（7校）、留学生（60名）など95名
 - ・構成：第1部「留学生向けセミナー」
 - ①留学生が日本で就職活動を行う際のアピールポイント
 - ②企業が求める人材とは
 - ③留学生が就職をする際に必要となる在留手続きの知識等
- 【講師】株式会社ディスコ国際教育推進課 田口 香織 氏

第2部：「留学生と企業との対話」

①意見発表

阿波村 稔 氏（新潟大学国際センター長・教授）
唐 玉光 氏（新潟大学大学院現代社会文化研究科1年）
蘇 莉娜 氏（株式会社BSNアイネット）
小島 基義 氏（一正蒲鉾株式会社 総務課長代理）
金川 寿泰 氏（パール金属株式会社 総務人事部長）

②意見交換【参加者全員】

コーディネーター
山岸 英一 氏（社団法人新潟県経営者協会 事務局長）
アドバイザー
田口 香織 氏（株式会社ディスコ国際教育推進課）
詹 秀娟 氏（新潟産業大学 教授）
穆 堯芊 氏（公益財団法人環日本海経済研究所 研究員）
伊藤 勝 氏（にいがたインターンシップ推進協議会専務理事）

2. アジアを知る事業 569,712円

(1) 国際理解講座

県が重点的に交流を進めている北東アジア地域への関心を高め、海外渡航の増加につなげるため、大学などの協力を得ながら、一般県民向けの講座を県内6地区、全12回開催した。

また、10月に新潟市で開催された「APEC食料安全保障担当大臣会合」を記念し、アジアの食料安全保障をテーマにした講座も実施した。

ア 国際理解講座「アジアをもっと知ろう！」

○佐渡市（両津やまきホテル）

①「中国人による訪日観光旅行の現状について」

中国東方航空新潟支店 支店長 楊 峰 氏

日時：11月9日（火）13：00～14：30 参加者数：22名

○新潟市（新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」）

①「反乱か民主化運動か—タイ政治の混乱を読み解く—」

新潟国際情報大学 教授 高橋 正樹 氏

日時：9月12日（日）13：30～15：00

参加者数：36名

②「インドの外交と政治—台頭するインドの実像—」

新潟大学 教授 真水 康樹 氏

日時：10月31日（日）13：30～15：00 参加者数：49名

○三条市（燕三条地場産業振興センターリサーチコア）

（財）環日本海経済研究所 部長 中村 俊彦 氏

①「北東アジアウォッチング①北東アジア諸国をまず知ろう」

日時：10月20日（水）19：30～21：00 参加者数：18名

②「北東アジアウォッチング②北東アジアの中の日本」

日時：11月17日（水）19：30～21：00 参加者数：11名

○南魚沼市（国際大学松下図書情報センター）

国際大学研究所 教授 信田 智人 氏

①「アメリカのアジア政策の歴史—日本と中国との間で」

日時：9月3日（金）18：30～20：00 参加者数：60名

②「中東和平問題の現状—報道されない真実」

日時：9月10日（金）18：30～20：00 参加者数：51名

○柏崎市（柏崎市市民プラザ）

①「フィリピン、マレーシア、インドネシアと日本の交流」

新潟工科大学 教授 判澤 純太 氏

日時：10月2日（土）14：00～15：40 参加者数：18名

②「ベトナムへのいざない」

新潟産業大学 教授 星野 三喜夫 氏



日時：11月19日（金）（19：00～20：55） 参加者数：21名

③「中国・内モンゴル自治区の環境と生活の現状」

新潟産業大学 助教 ウリジバヤル 氏

日時：12月4日（土）14：00～15：40 参加者数：27名

○上越市（上越市市民プラザ）

①「ベトナム事情」

上越教育大学大学院 博士課程 留学生 ファム・ティ・トゥ・ハー 氏

日時：9月4日（土）13：30～15：00 参加者数：24名

②「中国と東アジア編」

・「東アジアを捉える視点」

上越教育大学 名誉教授 二谷 貞夫 氏

・「現在中国事情」

上越教育大学大学院 教授 黎 子椰 氏

日時：9月11日（土）14：00～16：30 参加者数：33名

イ A P E C食料安全保障担当大臣会合開催記念 国際理解講座

○新潟市（新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」）

①「アジア地域における食料安全保障」

新潟大学 教授 木南 莉莉 氏

日時：10月3日（日）13：30～15：15

参加者数：51名



（2）高等学校等海外修学・研修旅行説明会

県内の公立・私立高校や専門学校校長等を対象に、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域を中心とした修学旅行説明会を開催した。

- ・期日及び会場：2月18日（金） 新潟県自治会館本館
- ・参加者：高等学校等（30校）、韓国観光公社、中国東方航空公司、グアム政府観光局、コンチネンタル航空等44名

3. 受け皿整備事業 68,342円

（1）ホストファミリー整備事業

海外からの来県者のホームステイ先の確保・充実を図るため、ホストファミリー実践講座及びホームステイ体験を実施した。

①ホストファミリー実践講座

ア 長岡会場

- ・期日及び会場：8月28日（土）長岡市国際交流センター
- ・参加者：日本人5名、ALT（外国語指導助手）5名

イ 新潟会場

- ・期日及び会場：9月23日（木・祝） 新潟県国際交流協会
- ・参加者：日本人13名、ALT4名

②ホームステイ実施

A L T（外国語指導助手）14人を対象にホームステイを実施

・期 日：11月6日（土）・7（日）

・参加者：12家庭

II 国際協力活動の支援 5,889,002 円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金 5,889,002 円

(1) 支援助成（参考資料P 1 参照）

「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、海外において県内NGO又は個人が行う人道援助活動や人材育成活動等に対し助成金を交付した。

・助成実績：6件（申請7件のうち助成後中止1件）

5,100,000 円

(2) 基金運営

①審査委員会の運営

ふれあい基金事業の審査等を行う審査委員会を開催した。（委員：7名）

・期日：12月18日（土）

・会場：新潟県国際交流協会研修室

②募金活動（参考資料P 2 参照）

広く県民からふれあい基金への寄附を募るとともにふれあい基金事業の周知を図るため、市町村役場、県内各地の日帰り温泉施設、及び宿泊施設等に常設している募金箱により、募金活動を実施した。

③募金実績

（単位：円）

	19年度	20年度	21年度	22年度
募金額	341,117	176,579	244,167	234,625
累 計	14,226,866	14,403,445	14,647,612	14,882,237

III 多文化共生の支援 24,149,813 円

5. 国際理解推進事業 1,440,645 円

(1) プレゼンテーションコンテスト

学校での教科、「総合的な学習の時間」及びクラブ活動、又は地域での活動などにおける国際理解をテーマとした学習の成果に関するプレゼンテーションコンテストを行った。

ア プレゼンテーションコンテスト

- ・参加団体：「中学生部門」5チーム、
「高校生部門」7チーム
- ・期日：12月11日(土)
- ・会場：朱鷺メッセ
- ・最優秀賞：
〈中学生部門〉新潟市立上山中学校
テーマ：「よりよい生き方を目指して」
〈高校生部門〉県立新潟商業高等学校 商業クラブ
テーマ：「中国人観光客のその後～国際交流の必要性～」



イ スタディツアーの実施

最優秀賞チームを韓国・スタディツアーに派遣予定であったが、東日本大震災の影響を考慮し中止とした。

(2) 協会広報誌

- ・発行時期：7月(第8号)、1月(第9号)
- ・配付先：県内の高校等134校、大学等25校、図書館、市町村・団体等
計15,000部

(3) 国際理解教育推進協議会

小・中・高・大学生及び教員を対象とする全県的な事業を推進するため、行政や関係機関等から成る推進協議会を開催した。

- ・期日及び会場：2月10日(月) 朱鷺メッセ小会議室305
- ・参加者：15名
- ・議題：平成21年度主催事業実績報告、22年度主催事業中間報告、
23年度主催事業案

6. 在住外国人支援事業 1,983,630円

地域住民の一人として在住外国人が安心して暮らすことができるよう、相談事業及び日本語教室を実施した。

(1) 相談事業 (多言語生活相談 WELCOME へ委託)

- 相談実績(参考資料P4参照)
 - ・対応言語：5カ国語(英語、中国語、^カラ^カ語、^タ語、^イネ^シ語)
 - ・相談件数：延べ979件(窓口相談41件、電話相談938件)
 - ・相談内容：在留手続き、福祉・DV、結婚・離婚など
- 講演及び意見・情報交換会
 - ・期日：8月23日(月)
 - ・会場：三条東公民館

- ・参加者：国際交流担当職員、民間団体、外国人雇用企業など 24 名
- ・内 容：新潟労働局外国人雇用管理アドバイザーを講師とする講演と、県中央地域における在住外国人支援について、市町村国際交流担当職員や日本語教室等国際交流団体、研修生・実習生を受け入れる協働組合等との意見・情報交換を行った。

(2) 日本語ボランティア育成事業

日本語ボランティアの養成及び能力の向上等を目的とする研修等を、委託により実施した。

ア 五泉市国際交流協会

- ・日時：8月28日(土)13:30～15:30
10月30日(土)14:00～16:00
12月4日(土)14:00～16:00
- ・会場：五泉市福祉会館、五泉市立図書館

イ 長岡市

①ボランティア育成型短期講座

- 10月3日(日)、10月17日(日)、10月24日(日)、10月31日(日)
- 11月7日(日)、11月14日(日)、11月21日(日)、11月28日(日)

②ことばの教え方講座

- 12月5日(日)
- ・会場：長岡市民センター

(3) 東日本大震災等への支援

ア コーディネーターの被災地派遣

被災地での外国人支援のため、実績のあるコーディネーターを現地に派遣

①平成23年3月13日(日)～15日(火)

- ・派遣者：長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏
新潟県国際交流協会元生活相談員 須田 麗子 氏
- ・派遣先：仙台国際交流協会

②平成23年3月25日(金)～27日(日)

- ・派遣者：長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏
- ・派遣先：仙台、盛岡、一関等

イ 緊急多言語生活相談の実施

東日本大震災及び県内で発生した地震における外国人支援のため、緊急に生活相談窓口を開設

- ・平成23年3月14日(月)10時～16時
インドネシア語、タイ語、タガログ語、英語
- ・平成23年3月15日(火)10時～16時

インドネシア語、タイ語

・平成23年3月18日(金)10時～17時

3月19日(土)・20日(日)10時～15時

中国語

ウ 県内避難所への多言語看板の送付

東北地方から新潟県内へ避難する外国人支援のため、「やさしい日本語」「中国語(簡体字)」「英語」「ポルトガル語」の4言語で、避難所で使用頻度の高そうな11種類の多言語看板を作成し、全76避難所に配布した。

7. 留学生支援事業 20,725,538円

県内の大学等で学ぶ外国人留学生に対する次の支援を行った。

(1) 留学生講師活用事業

留学生の能力活用と国際理解を推進するために、国際理解講座等の講師として留学生の活用を希望する市町村や学校、民間団体等に助成を行った。

助成件数：4件

(2) 国際理解講座講師

新潟県国際交流プラザで行う国際理解講座の講師として、自国の文化、歴史、自然等を小・中・高校生に紹介した。

・講座実施数 8回

(小：4回、中：4回、高：0回)



(3) 県内大学院グローバル化促進事業

将来の日本と本国とのビジネス交流の架け橋となる人材を育成し、新潟を拠点とした国際的な人的ネットワーク形成と「選ばれる新潟」を推進するため、アジア地域からの私費留学生に対する奨学金給付と大学院が行う留学生募集活動に対する助成を行った。

①外国人私費留学生奨学金事業

県内大学院に入学するアジア地域からの留学生に対し、入学金と授業料のそれぞれ1/2以内の奨学金を交付した。

・助成実績：国際大学13名、新潟大学3名、事業創造大学院大学1名

15,801,700円

②海外留学生募集活動支援事業

県内大学院がアジア地域で行う留学生募集活動に対し、対象経費の1/2以内を助成した。

・助成実績：新潟大学、新潟産業大学大学院、国際大学大学院、事業創造大学院大学 3,259,000円

Ⅳの 1 基盤強化（民間活動活発化） 4,801,064 円

8. 民間団体助成事業 3,286,231 円

（1）国際化推進活動助成金の交付（参考資料 P 6 参照）

民間団体等が実施する国際交流活動を支援し、地域の国際交流活動の促進を図るため助成金を交付した。

- ・助成実績：民間団体等 27 団体（申請団体 31 団体、うち助成決定後中止等 4 団体） 3,258,245 円
- ・事業例：日本語教室、国際映画祭、在住外国人・海外との交流事業等

（2）研修室等の貸出

民間団体の活動促進のため国際交流プラザや研修室の貸出しを行った。

- ・利用時間：平日の原則として 13 時～21 時、土日・祝日の 9 時～21 時
- ・利用件数：50 件（22 年 4 月～23 年 3 月）

9. 民間団体ネットワーク構築事業 686,833 円

県内在住の外国籍住民等を支援するために、上・中・下越の地域ネットワーク及び全県的なネットワークを活用した多言語生活相談事業、及び外国籍児童生徒支援事業などを、平成 21 年度に引き続き実施した。

（1）ネットワークを活用した生活相談事業

①地区別講座、連絡会議の実施

ア 下越地区（新潟県国際交流協会実施）

- ・内 容：多文化家族座談会
- ・日 時：7 月 4 日（日）
- ・会 場：サン・ワークしばた
- ・講 師：NPO 法人地球の子どもネットワーク理事、
庄内国際交流協会副会長 山口 考子 氏
- ・参加者：日本語教室、国際交流団体、一般県民等 57 名

イ 上越地区（委託先：（社）上越国際交流協会実施）

- ・内 容：人口減少社会の外国人政策を考える
- ・日 時：7 月 16 日（金）
- ・場 所：上越市市民プラザ
- ・講 師：日本言語政策学会会長・日本 LSP 協会会長 田中 慎也 氏
- ・参加者：市町村国際交流担当職員、生活相談員、国際交流団体等 19 名

ウ 中越地区（委託先：長岡市国際交流センター）

- ・内 容：外国籍住民の離婚・DV 問題についての相談員勉強会
- ・日 時：2 月 10 日（木）
- ・場 所：ながおか市民センター
- ・講 師：女のスペースながおか代表理事 荻野 茂子 氏

- ・参加者：市町村国際交流担当職員、生活相談員等 23 名

②専門機関との連携

ア 1 日入管インフォメーションセンター

- ・日 時：6 月 23 日（水）10：00～15：00
- ・会 場：新潟県国際交流協会研修室
- ・内 容：毎年行う東京入国管理局の 1 日入管インフォメーションセンターの開設に合わせ、外国人対応ができるよう、多言語生活相談員を通訳として配置。
- ・相談件数：13 件（来訪 6 件、電話 7 件）

イ 行政書士による外国人無料相談会等

(ア) 上越地区（委託先：(社)上越国際交流協会実施）

- ・日 時：10 月 16 日（土）9：30～12：30
- ・会 場：上越市市民プラザ
- ・内 容：県行政書士会上越支部と連携し、多言語相談及び相談員への勉強会を実施。
- ・参加者：近隣の国際交流団体・一般県民等 15 名

(イ) 下越地区（新潟県国際交流協会実施）

- ・日 時：10 月 20 日（水）10：00～15：00
- ・会 場：新潟県国際交流協会研修室
- ・内 容：新潟県行政書士会新潟支部と連携し、行政書士による専門的な相談を、多言語通訳を交え、無料で提供した。
- ・相談件数：6 件（来訪 4 件、電話 2 件）

ウ 生活相談関係機関連絡会議

- ・日 時：平成 23 年 2 月 10 日（金）13：30～15：40
- ・会 場：朱鷺メッセ小会議室 305
- ・参加者：県弁護士会、県行政書士会、東京出入国管理局新潟出張所、日本司法支援センター、市町村国際交流協会等 21 名
- ・内 容：各機関が行う、外国人に関する業務等について、状況を確認するとともに、多言語生活相談の実施等、連携事業を検討した。

(2) 外国籍児童生徒・保護者等を対象にした進学等に関する地域懇談会

上・中・下越地区において、市町村地域国際交流協会と連携し、日本語を母語としない子どもと保護者等を対象に、高校への進学など、日本の学校制度について説明する地域懇談会を実施した。

①中越地区「日本の学校 進学ガイダンス」

- ・日 時：7 月 31 日（土）14：00～15：30
- ・会 場：柏崎市市民プラザ
- ・主 催：(財)柏崎地域国際化協会、(財)新潟県国際交流協会

- ・共 催：柏崎市教育委員会
- ・参加者：中国出身者の家族など 10 名

②上越地区「進学等に関する地域懇談会」

- ・日 時：8月28日（土）10:00～12:00
- ・会 場：上越市市民プラザ
- ・主 催：(社)上越国際交流協会、(財)新潟県国際交流協会
- ・共 催：上越市教育委員会
- ・参加者：ペルー、中国出身者の家族など 18 名

③下越地区「日本の学校を知ろう！」セミナー

- ・日 時：11月13日（土）
- ・会 場：クロスパスにいがた
- ・主 催：(財)新潟市国際交流協会、(財)新潟県国際交流協会
- ・参加者：中国、フィリピン、タイ、カナダ出身者の家族など 13 名

(3) 外国籍児童生徒初期受入支援（委託先：(社)上越国際交流協会）

外国籍児童生徒が日本の学校に入学する際の受入体制や必要な書類等、初期受入に関する手引きを(社)上越国際交流協会に委託して作成した。

10. 在外県人会活動支援 828,000 円

ブラジル、ホノルル、アルゼンチンの各新潟県人会に対して、現地での活動を支援するため助成金を交付した。

団 体 名	助成額（円）
ブラジル県人会	460,000
ホノルル県人会	165,000
アルゼンチン県人会	92,000
新潟県海外移住協会	100,000
合 計	817,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 1,971,145 円

11. 人材育成 1,971,145 円

民間団体等の人材の育成と次世代を担う若者の国際理解を深めていくための支援を行った。

（1）NGO スタッフ育成講座

国際交流・協力等を目的に設立された既存の NGO や、これから NGO 活動を始めたい人を対象に、研修等を実施した。

- ・期日及び会場：3月6日（日） 国際大学 202 教室
- ・テーマ：NPO・NGO など民間団体による活動の周知・会員確保につながる広報活動についての研修。国際大学留学生との交流。
- ・講師：ソーシャルクリエイティブエージェンシー「サステナ」
代表 マエキタ ミヤコ 氏
- ・参加者：県・市町村、NGO 団体等 32 名
留学生（交流会）6 名



NGO スタッフ研修

（2）ボランティアバンクの運営

ボランティアレベル・活動歴等の把握を通して、適材適所にボランティアを活用するなど、協会の調整機能を向上させるとともに、研修事業の充実など、ボランティアバンクの更なる活性化を図った。

①通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 118 名
（英語：74 名、中国語：16 名、韓国語：14 名、ロシア語：7 名、タイ語：3 名、その他：4 名）
- ・アースサポーター登録者数 57 名
- ・イベント等への延べ紹介数 67 名

②語学講座

新潟県国際交流協会研修室等を利用して、通訳・翻訳ボランティア、一般県民を対象とする、英語、韓国語、中国語、ロシア語の講座を実施した。

- 英語：7月24日（土）参加者 18 名、3月11日（土）参加者 14 名
- 中国語：7月24日（土）参加者 11 名、3月11日（土）参加者 7 名
- 韓国語：8月7日（土）参加者 8 名、3月11日（土）参加者 2 名
- ロシア語：8月7日（土）参加者 4 名

（3）国際交流インストラクター養成事業

（新潟国際情報大学・敬和学園大学・新潟県立大学連携事業）

大学生（69 名、情報大：35、敬和大：12、新潟県立大：22）をインストラクターに養成し、小・中・高校生などを対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるためのワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内小・中・高等学校 25 校(小：14、中：7、高：4) ・ 2 施設
- ・テーマ：「世界の現実」「世界の不平等」「異文化理解」

(4) 国際理解教育推進重点校設置事業

県内中学校・高校における国際理解教育の推進・意識啓発のため、国際理解教育に熱心に取り組んでいる中学校・高校の中から7校を選定し、年間を通して、各種国際理解教育メニューを実施・評価していただいた。

実施校：中学3 (小千谷、附属長岡、羽茂)、中等教育学校1 (村上)
 高校3 (新潟商業、国際情報、長岡工専)

(5) 相談・通訳員育成

人材が不足している少数言語の相談・通訳員を新たに育成する研修等を平成20・21年度に引き続き、実績のある民間団体に委託して実施した。

- ・委託先：(社)上越国際交流協会、多言語生活相談 WELCOME

(6) 医療支援事業

平成21年度に作成した「多言語版医療窓口対応シート」(英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、タガログ語、インドネシア語、やさしい日本語)を使い、医療従事者向けの外国人患者対応研修会を開催した。

また、新潟県内に暮らす外国籍住民を対象とし、生活習慣病の知識や地域で受けられる健康診断についての情報提供を行うための医療勉強会を開催した。

「医療従事者向け外国人患者対応研修会」

期日及び会場：長岡会場 12月4日(土) ながおか市民センター201 会議室
 新潟会場 12月5日(日) クロスパルにいがた 201 講座室

講師：(特活)多文化共生センターきょうと理事 高嶋 愛里 氏

参加者：48名(長岡、新潟とも24名)

「外国籍住民のための医療勉強会」

期日及び会場：新潟会場 9月26日(日) クロスパルにいがた調理実習室
 上越会場 10月27日(水) 上越市民プラザ第四会議室

講師：新潟会場 新潟市食生活改善推進委員協議会 二木 ちどり 氏 他
 上越会場 上越市生活習慣予防対策室長 柳澤 美枝子 氏

参加者：16名(新潟、上越とも8名)

(7) 災害時通訳ボランティア育成事業

外国語ができる日本人または日本語ができる外国人の中から、災害時に多言語支援ボランティアとして被災地の外国籍住民等を支援できる人材を育成するための「災害多言語支援ボランティア研修」を新潟市、上越市、三条市で実施した。

①新潟市

期日及び会場：11月3日(土) 国際エアリゾート専門学校

内 容：午前 災害多言語支援ボランティアの心得、通訳翻訳基礎等
午後 防災に関するクイズ、ゲーム等
講 師：(財) 柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏
参加者：ボランティア 13 名、留学生 53 名

②上越市

期日及び会場：11 月 28 日（日）上越市市民プラザ
内 容：午前 災害多言語支援ボランティアの心得、
多言語情報作成等

午後 新潟県実施の模擬訓練との合同シミュレーション

講 師：(財) 柏崎地域国際化協会事務局長
清水 由美子 氏

<災害時外国人支援模擬訓練>

(財) 長岡市国際交流センター長
羽賀 友信 氏

(特活) 多文化共生センター大阪 代表理事 田村 太郎 氏

参加者：ボランティア 13 名、模擬訓練参加者 36 名、避難者役外国人 19 名



災害多言語支援ボランティア育成研修（上越市）

③三条市

期日及び会場：平成 23 年 1 月 8 日（土）三条東公民館

内容：午前 災害多言語支援ボランティア制度について、通訳翻訳基礎等
午後 外国人向け防災講座、三条市の避難所説明

講師：(財) 柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏

(特活) にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長 李 仁鉄 氏

参加者：ボランティア 17 名、三条市 4 名、外国人受講者 9 名

Ⅳの 3 基盤強化（広報情報提供） 3,995,930 円

12. 広報ライブラリー運営事業 903,964 円

県内団体や一般県民等に、国際交流・国際協力に関する情報や当協会の事業等について情報を提供した。

(1) PR 記事掲載

朱鷺メッセのフリーペーパー「トツときガイド」掲載（年 2 回）

(2) 年次報告書発行

平成 21 年度の事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係機関等に配布した。

(3) プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料（図書、ビデオ、テープ、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

①蔵書等の状況（平成23年3月末現在）

- ・図書 3,241冊
- ・各種団体発行物

（財）自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等

- ・ビデオ 533本、DVD 53本、CD 134本、CD-ROM 8本

開発途上地域でのNGO活動を伝える映像資料等

- ・雑誌 31誌
- ・新聞 日本語 2紙（新潟日報、日経）
外国語 4紙（イブニング、ジャパンタイムズ、人民日報、東亜日報）

- ・その他の資料 県内外のNGO、全国の国際交流協会機関誌
語学学習用テープ・教材（外国語、日本語）等

②年間貸出実績（貸出しは賛助会員のみ）

- ・図書 12冊、CD 1枚

13. IT活用促進事業 658,056円

平成19年度に改訂したホームページの機能を生かし、情報提供の充実を図った。

また、協会ニュース、関連団体の県内外イベント情報などを定期的にメールマガジンとして配信した。（310件）

14. 賛助会員募集 82,274円

(1) 賛助会員数の推移

（単位：会員数）

	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末	22年度末
個人	60	48	31	28	26
団体	74	74	71	69	69
計	134	122	102	97	95

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 9 件) (県立近代美術館割引券利用件数 3 件)
団体会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出 (50 件) ・国際化推進活動助成金の交付 (29 団体、総額 3,020,245 円) ・印刷機・紙折機の利用
個人・団体 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書 (12 冊)、CD (1 枚) ふれあい地球人ボックス (21 件)、国旗 (78 件) の貸出 ・インターネット用パソコンの利用 ・協会イベント情報等のメール提供

15. 国旗等貸出 42,000 円

国際交流活動を行う賛助会員や諸団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス (民族衣装、グッズなど) の貸出しを行った。

貸出実績：国旗 39 団体・78 件、地球人ボックス 14 団体等・21 件

16. 国際交流連絡会議開催 296,250 円

県内 3 地域において、市町村・民間団体等と情報・意見交換を行う会議を開催した。

○上越会場

- ・期日及び会場：4 月 23 日 (金) 上越市市民プラザ
- ・参加団体・人数：13 団体、22 名

○新潟会場

- ・期日及び会場：4 月 26 日 (月) 朱鷺メッセ中会議室
- ・参加団体・人数：43 団体、53 名

○長岡会場

- ・期日及び会場：4 月 27 日 (火) ホテルニューオータニ長岡
- ・参加団体・人数：27 団体、36 名

17. 設立 20 周年記念事業 2,013,386 円

当協会が平成 22 年 10 月で設立 20 周年を迎えることから、記念講演会の開催や記念誌の発行などの記念事業を行った。

(1) 設立 20 周年記念講演会

- ・日 時：11 月 25 日（木）13：00～16：20
- ・会 場：ホテル日航新潟
- ・入場者：約 300 人
- ・主な内容



①パネルディスカッション

「地域と共に生きる～住んで良かったと思う地域社会の形成のために～」

コーディネーター：羽賀 友信 氏（長岡市国際交流センター長）

パネリスト：アレクサンドル・プラーソル 氏

（ロシア出身、新潟国際情報大学教授）

権 五景 氏（韓国出身、長岡大学准教授）

鄭 月順 氏（中国出身、ハルビン工業大学電気自動化学院特任教授）

バータルベール・チオイジン 氏

（モンゴル出身、(株)エブリィ アジアチーム）

ファビオ・ジョゼ・ドス・サントス 氏

（(株)アルビレックス新潟サッカースクールコーチ）

②記念講演「政治の劣化が招く外交力の低下、田中元首相と日中国交回復」

講師：後藤 謙次 氏（政治コラムニスト）

③パネル展示

新潟県国際交流協会 20 年のあゆみや、主な協会事業をパネルで紹介

(2) 設立 20 周年記念祝賀会

- ・日 時：11 月 25 日（木）16：40～18：20
- ・会 場：ホテル日航新潟
- ・参加者：約 120 人

【主な参加者】

新潟県知事 泉田 裕彦 氏

駐新潟大韓民国総領事 延 上模 氏

在新潟ロシア連邦総領事館副領事 コレスニク・ロマン氏、

中華人民共和国駐新潟総領事館総領事 王 華 氏・領事 陳 明煌 氏

財団法人自治体国際化協会多文化共生部長 佐藤 哲志 氏

独立行政法人国際協力機構広尾センター所長 貝原 孝雄 氏

新潟市長 篠田 昭 氏、阿賀野市長 天野 一榮 氏、粟島浦村長 本保 建男 氏



記念祝賀会の様子